

子ども教育通信

2015
年度

卒業研究発表会

毎年1月末、子ども教育学科では4年生による卒業研究発表が行われます。3つのゼミ毎に4箇所の会場に分かれ、3年次から約2年間で仕上げた研究内容を、該当するゼミの学生と担当の先生を前にプレゼンテーション。3年生も進行・計時・準備をサポートするスタッフとして参加をし、質問や感想を発表したりもします。発表後は、先生からの審査を受け4年間の学習の集大成を迎えます。

卒業研究発表会とは

全ての過程が、成果。

子ども教育学科・教授
大野木 裕明

4年制大学の良い所の1つは、ゼミ（少数演習の授業）と卒業研究があることだと思います。私たち子ども教育学科では、ゼミ仲間や指導教員と相談しながら4年生一人ひとりが、自分のテーマを立てて取り組みます。12月に卒業研究を提出した後も、お披露目の場であるこの口頭発表の日までは、『卒業研究要旨集』への原稿の提出、当日の発表の資料作りやリハーサルなどが続きます。大変ですが、それだけに、成し遂げた後の達成感や仲間との気持ちの一体感は、何よりも代えがたい大学時代の経験となります。私たち教員も、見違えるように成長したゼミ生の姿を目の当たりにし、うれしさを噛みしめ、そして彼ら彼女らを頼もしく感じます。それが、この日なのです。



発表後、先生からの質問に対して的確に答えることも研究発表の一部。

PICKUP
01

好きな世界の知識を 理論的にまとめていく楽しさ。

テーマ「物語における魔女と魔法使いの比較」

子ども教育学科4年 加藤早紀子 [大野木ゼミ] (武生東高校出身)

グリム童話・オズの魔法使い・ディズニー作品をもとに、子どもの時から馴染み深い「魔女」と「魔法使い」について調査しました。`容姿、や物語における`行動、と`最期、を比較したところ、その捉えられ方は、時代や国によって変わることがわかりました。参考文献の数が多くて目を通すだけでも大変でしたが、興味のある世界について広く深く追求していく作業は楽しかったです。

子ども教育通信

2015年度 卒業研究発表会



経済効果を実感した「ゆるキャラグランプリ」。



歴史や経済効果を調査。越前市オリジナルキャラも作成。

テーマ「子どもに人気のあるゆるキャラの開発
-越前市非公認キャラクター-



子ども教育学科4年 坂本優惟 [伊東ゼミ] (羽水高校出身)
 昨今、テレビやイベント会場で頻繁に見かける「ゆるキャラ」。今回は、定義や歴史、経済効果などを文献やネットで調査しました。その過程では、年に一度のお祭り「ゆるキャラグランプリ」にも参加。最終的には、越前市の特産(ボルガライス、越前和紙、越前打刃物)をモチーフに、オリジナルのゆるキャラマスコットを作成。手や足など着ぐるみを意識した状態を表現するのに苦労しました。



実際に小学校で和算を用いた授業を実施。



文献を解読するだけでなく、面白く伝える工夫に頭を悩ませた。

テーマ「江戸の数学文化が算数教育にもたらす効果」



子ども教育学科4年 川端祥能 [木曾ゼミ] (羽水高校出身)
 「大学院生が高校生に和算の問題を解かせる授業をした」という新聞記事に関心を持ち、研究へ。和算の持つ「遊び」の要素や歴史的背景が、子どもたちにどんな影響をもたらすのかを調査。北新庄小学校の児童を対象に「ねずみ算」などを用いて実践も行いました。和算の文献の解読は困難でしたが、想像以上に強い好奇心を持って取り組んでいた子どもたちの姿が興味深かったです。



幼児期体験が活きていた「秋フェスタ」。



「生活科」の研究を通して、保・幼・小連携の貴重な知識を得た。

テーマ「生活科における幼児教育との関連性について
-小学校1年生「生活科」の授業に着目して-



子ども教育学科4年 須貝亜美 [石川ゼミ] (村上高校出身)
 保育所または幼稚園から小学校へ、児童がスムーズに馴染んでいくために重要な役割を持つ低学年の教科「生活科」を調査・研究。調査過程では、小学生が幼稚園児を招いて行う「秋フェスタ」の準備や実施風景も見学。自然を活かした遊び作りからは幼児期の体験が活きていることを実感できました。保育士を目指す者として保幼小の連携の大切さについて学ぶ貴重な機会となりました。

卒業研究発表会を終えて

3年サポートスタッフ【インタビュー】

多くの人が興味を持つような発表を作り上げたい。

子ども教育学科3年

山内優依 (仁愛女子高校出身)

私はサポートスタッフとして、タイトル読み上げや質問などを呼びかける「進行」を担当しました。先輩の中には、一度も資料へ視点を落とさずに発表されている方もいて驚きました。来年はいよいよ私たちの番。聴いて頂く方にも興味を持ってもらいやすい発表にしたいです。



就職状況レポート

NEWS

2015年度は
小学校教諭9名合格!

(既卒者含む)

(福井県2名、石川県2名、富山県1名、京都府1名、東京都3名)

保育士・保育教諭・幼稚園教諭

[公立12名] [私立15名]

※H28年3月1日現在